

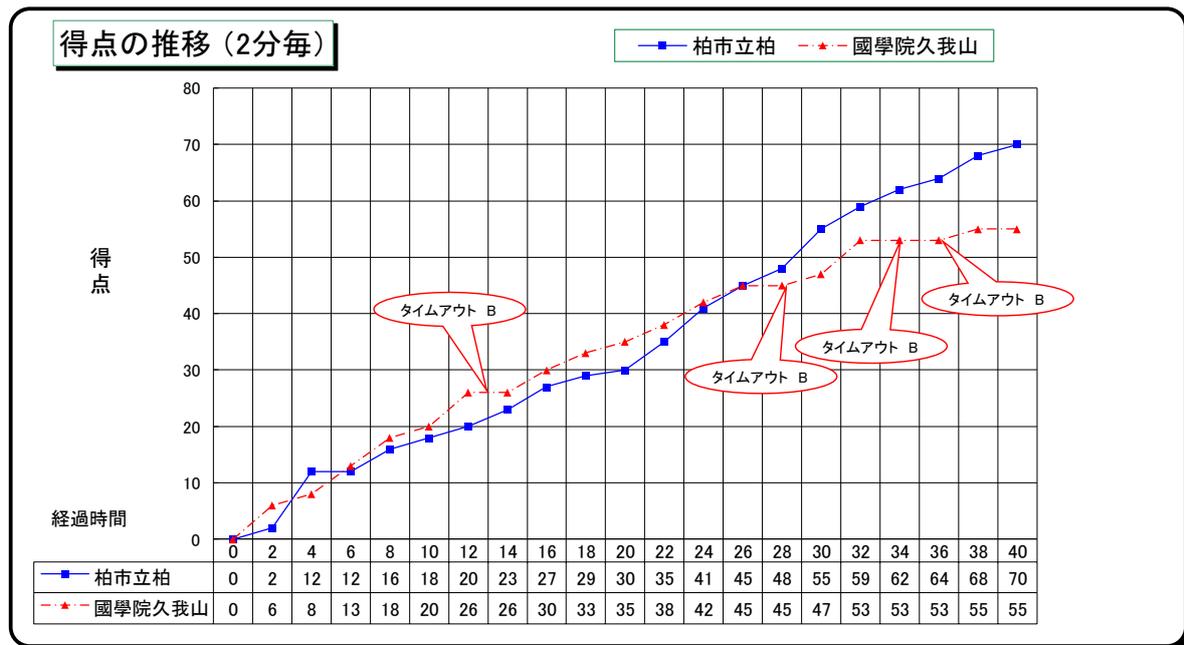
平成 27 年度 関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第 69 回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 < 2 回戦 >

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Dコート	第5試合 15:00~										
<チームA> <b style="font-size: 1.2em;">柏市立柏 千葉	<b style="font-size: 2em;">70 { <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; text-align: center;"> <tr><td>18</td><td>1Q</td><td>20</td></tr> <tr><td>12</td><td>2Q</td><td>15</td></tr> <tr><td>25</td><td>3Q</td><td>12</td></tr> <tr><td>15</td><td>4Q</td><td>8</td></tr> </table> } <b style="font-size: 2em;">55	18	1Q	20	12	2Q	15	25	3Q	12	15	4Q	8	<チームB> <b style="font-size: 1.2em;">國學院久我山 東京
18	1Q	20												
12	2Q	15												
25	3Q	12												
15	4Q	8												
主審: 河野 仁(山梨) 副審: 大和田 雅人(茨城)														

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	小平 光一	16	1	5	3	1
◎	5	佐藤 汰一	6		3		1
○	6	神谷 辰徳	14		6	2	1
◎	7	高橋 世伍	7		3	1	
○	8	石田 尚也					
◎	9	高橋 龍人	7	1	2		1
◎	10	畑 タカハル	14		7		2
○	11	武富 隆誠					
○	12	池田 右弥					
○	13	田原 慈央					1
○	14	竹川 真聖					
○	15	築 拓海					
○	16	伊藤 祐太					
○	17	佐藤 凱					
○	18	鈴木 涼裕	6		3		1
コーチ			岡崎 武史				
合計			70	2	29	6	8

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	木本 秀治					2
◎	5	三田 裕介	9	2	1	1	1
◎	6	永久保 侑祐	5		2	1	
○	7	成田 悠					1
◎	8	ウイタカ ケンタ					1
◎	9	野山 翔	11	1	4		1
○	10	町田 勇輔	6		3		3
○	11	渡邊 怜	17	3	4		3
○	12	笠間 凱					
○	13	神山 瞬汰	3	1			1
○	14	出光 歩					1
○	15	三上 朋哉	2		1		
○	16	合田 樹					1
○	17	島原 大智					
○	18	戸堀 春輝	2		1		2
コーチ			酒井 良幸				
合計			55	7	16	2	17

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦 評	記入者: 大高 晃平
<p>第1P, 市立柏高等学校(以下, 市柏)と國學院大學久我山高等学校(以下, 久我山)は共にハーフコートマンツーマンディフェンスで試合に臨む。久我山は⑤三田のシュートで先制すると, 市柏は⑩畑が決め返す。久我山はインサイドの⑧ウイタカを起点に攻撃を組み立てる。対する市柏はアウトサイド中心で攻める。序盤は久我山がリードしていたが, ⑧ウイタカが負傷のため退くと市柏が反撃に出て点差を詰める。18対20で第1Pが終了した。</p> <p>第2P, 久我山は⑥永久保がバスケットカウントを奪い, 点差を5点に広げる。市柏は⑥佐藤のゴール下, フリースローなどで喰らいつき, さらにディフェンス時の足の動きがよくなり相手のミスを誘発した。しかし, 久我山は⑤三田のフリースローや⑨野山のレイアップでリードを渡さない。30対35で前半が終了した。</p> <p>第3P, 後半に入ってさらに動きの良くなった市柏は, ⑥神谷がバスケットカウントやゴール下シュートでチームを牽引する。対する久我山は⑪渡邊が3Pで対抗するも後が続かず, 遂に逆転されてしまう。たまたま久我山はタイムアウトを請求する。しかし再開後, 市柏が2-1-2ゾーンを仕掛ける展開になり, 負傷で⑧ウイタカを欠く久我山は流れを取り戻すことができない。終了間際には市柏は相手のミスから速攻を決め, この試合最大の8点リードを奪い, 55対47で第3Pを終えた。</p> <p>第4P, 久我山は⑪渡邊と⑨野山が3Pを沈めるも, 市柏は素早いパス回しから最後は④小平や⑩畑がシュートを決めるなどして点差を維持する。市柏のゾーンを攻めきれない久我山は残り4分の時点で3回目のタイムアウトを請求する。しかし, 市柏の勢いは止まらず, 全員でボールをシェアしながら着実に加点していく。後半で勢いに乗った市柏が最後まで調子を維持し, 70対55で試合終了となった。</p>	